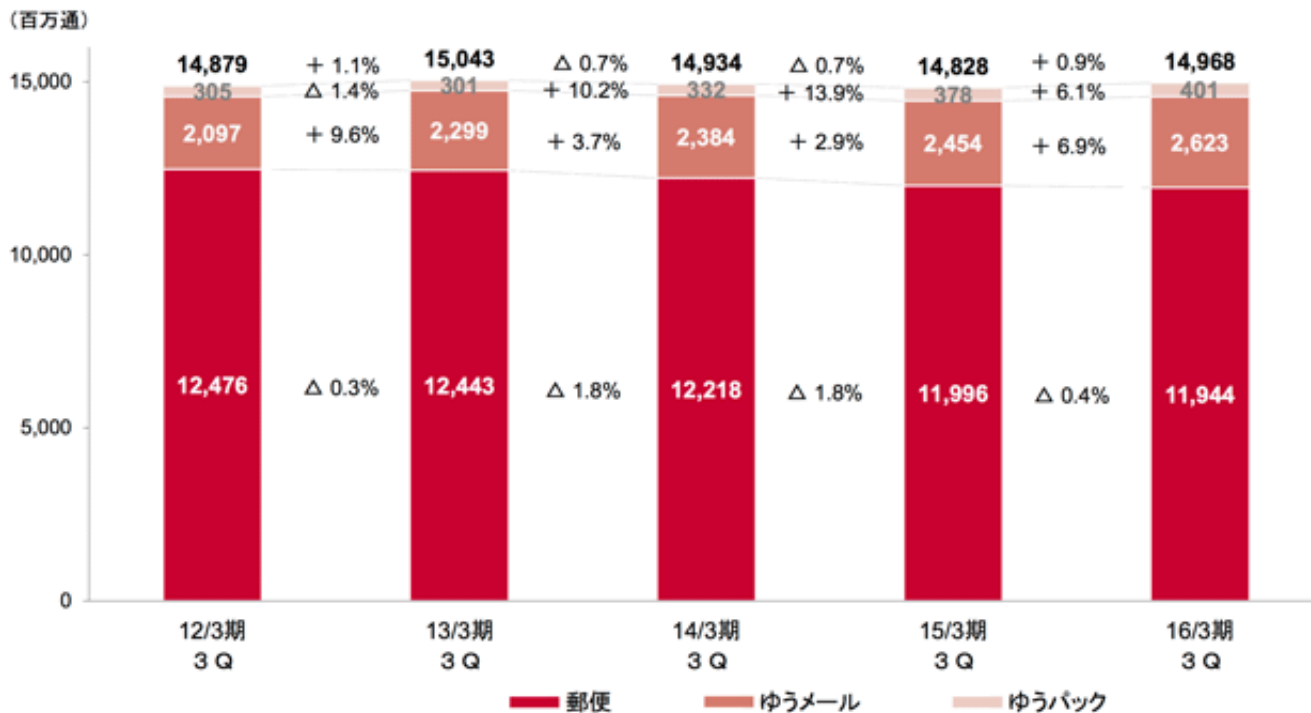


日本郵便・3Q、郵便・物流事業126億円改善し黒字化

Edited By LogisticsToday On 2016/02/12

日本郵政が12日に発表した日本郵便の2015年4-12月期連結決算によると、郵便・物流事業の営業損益は前年同期の97億円の赤字から126億円改善し、29億円の黒字に転換した。日本郵便全体の売上高は、豪州物流大手のトールグループを買収したことなどにより、前年同期比で4922億円増え、2兆7053億円（22.2%増）となった。



郵便・物流事業の総取扱物数は0.9%の増加。このうち、郵便物はアシ.ア宛てのEMS・国際小包など、国際郵便が伸びたほか、マイナンハ.一通知カート.の差出しが.あったにもかかわらず、0.4%減の119億4400万通にとどまった。

EC市場の拡大を受け、ゆうパックは0.9%増の4億100万個で3期連続の増加、ゆうメールも6.9%増の26億2300万冊と堅調に拡大した。

[日本郵便連結業績] 2016年3月期第3四半期連結決算 (単位: 億円)

	2016年3月期 第3四半期	2015年3月期 第3四半期	増減
売上高	27,053	22,131	22.2%
営業利益	341	193	76.7%
経常利益	414	243	70.4%
当期純利益	487	218	123.4%

[郵便・物流事業、国際物流事業]

郵便・物流事業

売上高	14,495	13,894	4.3%
営業利益	29	-97	-

国際物流事業

売上高	3,829	-	-
営業利益	166	-	-

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/215471>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.